

ディプロマポリシー

リハビリテーション学部では、多様化する医療・保健・福祉の領域でリハビリテーション専門職にふさわしい教養と専門的知識・技術を修得し、社会のニーズに応えることのできる医療専門職としての理学療法士及び作業療法士を育成する。

本学部ではこの目標に基づき、以下の領域における内容を修得した者に対して学士（リハビリテーション学）号を授与する。

1. 知識・教養

- ・人への感謝を忘れず、人のために尽くそうという高い志を備えている
- ・リハビリテーション専門職としてふさわしい教養を備えている
- ・リハビリテーション専門職として人間性豊かな倫理観と責任感を兼ね備えている
- ・事象を科学的にとらえ、客観的な判断が出来る能力を備えている

2. 認知領域(cognitive domain)

- ・リハビリテーションの社会的意義、責任について理解している
- ・リハビリテーションの保健、医療、福祉の分野における役割を理解している
- ・リハビリテーション専門職として必要な基礎医学の知識を修得している
- ・リハビリテーション専門職に必要な幅広い臨床医学の知識を習得している
- ・リハビリテーション医療を実践するにあたって必要な専門的知識と技術を具体的に理解している

3. 応用領域(affective domain)

- ・対象者に対してインフォームドコンセントが実践できる
- ・リハビリテーション医療を実践するにあたって必要な安全性に対する配慮が出来る
- ・専門的知識や技術を目的に応じて正確に選択し、実践できる

4. 精神運動領域(psychomotor domain)

- ・リハビリテーション専門職としての熱意とたゆまぬ向上心を備えている
- ・チーム医療の一員としての役割を認識し、責任ある行動がとれる
- ・リハビリテーション専門職として社会に貢献する意欲を持ち、社会的使命を遂行することができる